

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	応急手当	
科目基礎情報					
開設学科	情報ビジネス科	コース名	コース共通	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	15時間
単位数	1単位	開講時間	時間割外	授業形態	講義
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	山下 恵子		実務経験の有無・職種	有・救命救急士	
学習目的					
突然の事故や病気など救急車を呼ぶような現場に遭遇したとき、救急隊員や医療従事者車での間、応急手当を行う必要がある。様々な事象の応急方法を理解することで対応できるようにする。また、サービス介助の高齢の人や障がいがある人を手伝うときの「おもてなしの心」と「介助技術」を学び、相手に安心してもらう方法を学ぶ。					
到達目標					
サービス介助として、高齢、聴覚障がい者、車いす利用者、視覚障がい者への応対方法を理解する。					
教育方法等					
授業概要	応急手当の方法としてAEDの使い方、気道異物除去の方法、倒れている人の対応、出血している人への対応、けがをしている人への対応、熱傷の対応ほ、溺れている人への対応方法。				
注意点	授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状況により、内容が前後する場合がある。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト				
	レポート				
	成果発表 (口頭・実技)				
	平常点	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回） 1回（ 1 ）時間 ※45分を1時間とする					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	ガイダンス		応急宛てのポイントについて理解できる		
2回	AEDの使い方（1）		AEDについて理解できる		
3回	AEDの使い方（2）		AEDを使用した心肺蘇生について理解できる		
4回	AEDの使い方（3）		AEDを使用した心肺蘇生、実演について理解できる		
5回	気道異物除去方法		気道異物除去方法について理解できる		
6回	倒れている人への応対方法		倒れている人への応対について理解できる		
7回	出血している人への応対方法		出血している人への応対について理解できる		
8回	けがをしている人への応対方法		けがをしている人への応対について理解できる		
9回	熱傷の場合の処理方法		熱傷の場合の処置方法について理解できる		
10回	溺れている方への応対方法		溺れている人への応対方法について理解できる		